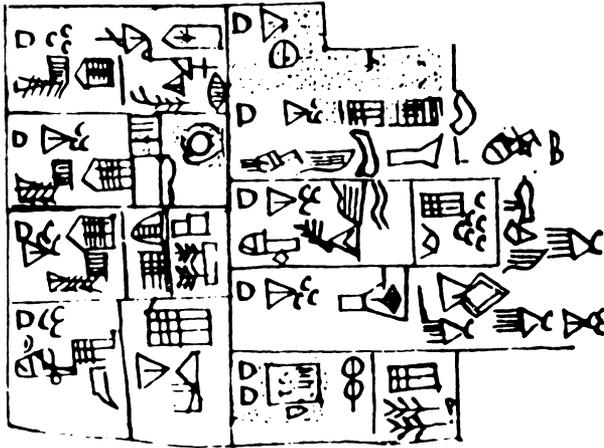


出展：中西亮『世界の文字』みづうみ書房、1975

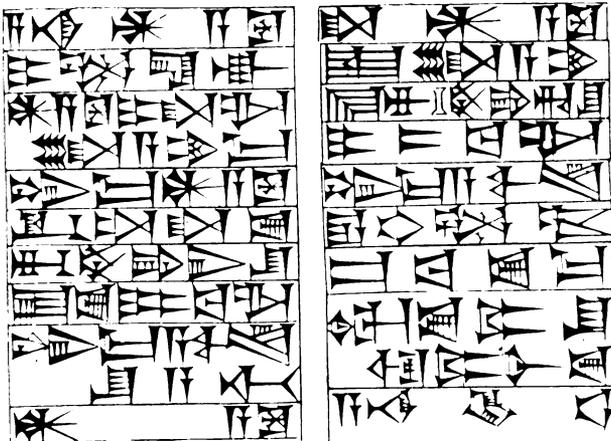
西アジアの文字



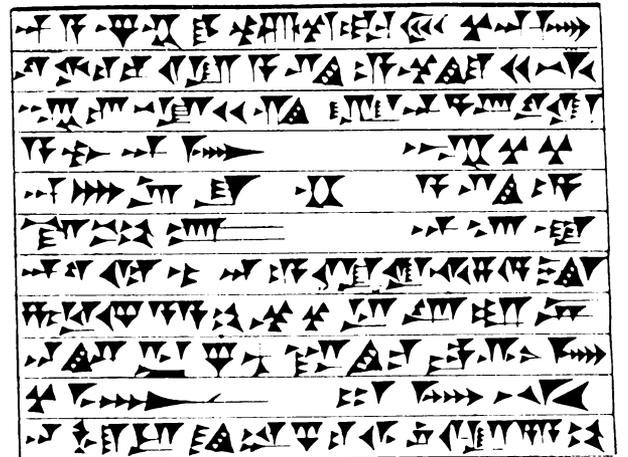
シュメール絵文字 紀元前32世紀頃人類最古の文字がメソポタミアで作られた。(杉勇：楔形文字入門)



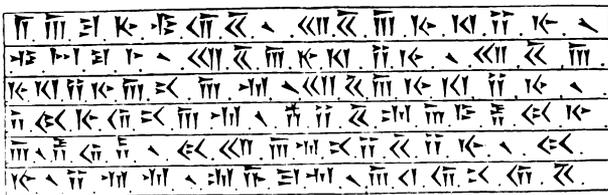
原エラム文字 シュメールの東、エラム地方(今のイラン)の古代文字。紀元前30世紀頃で未解読。(Gelb)



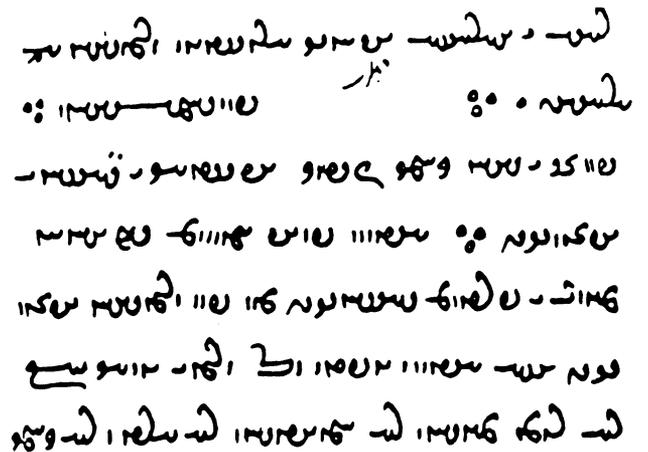
バビロニア楔形文字 古代バビロニア帝国の文字で、有名なハムラビ法典の一節。(杉勇：楔形文字入門)



アッシリア楔形文字 古代アッシリア帝国の文字でバビロニア文字と同じ。(筑摩・世界の歴史2)



アケメネスペルシャ楔形文字 古代ペルシャ帝国の文字。紀元前5世紀。(高津春繁：古代文字の解読)

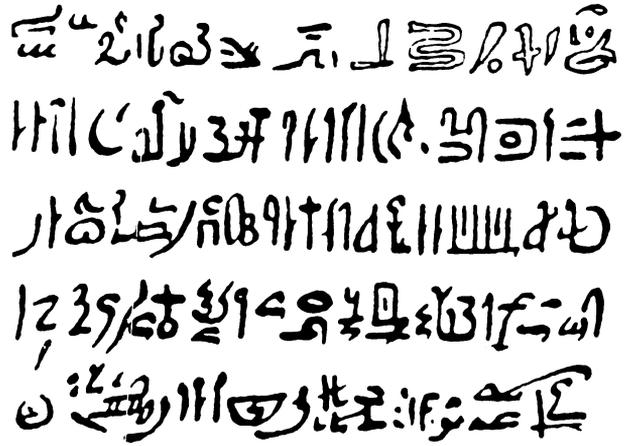


パフレビー文字(走行体) ササン朝ペルシャの文字でアラム文字の後裔。(筑摩・世界の歴史2)

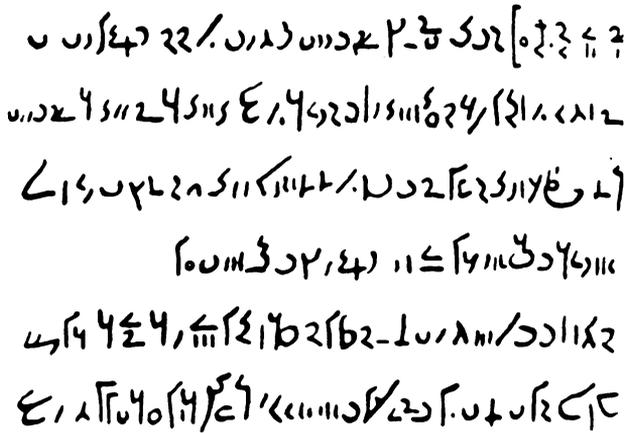
アフリカの文字



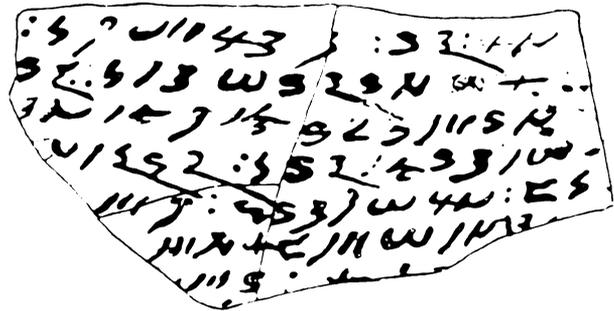
ヒエログリフ 紀元前3100年頃成立した古代エジプトの聖刻文字 (E.A. Wallis Budge: Egyptian Language)



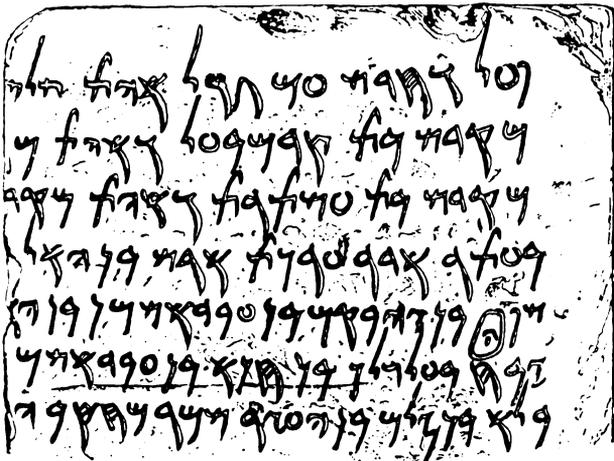
ヒエラティック ヒエログリフの行書体で古代エジプト帝国の聖職文字である。(Gilyarevsky)



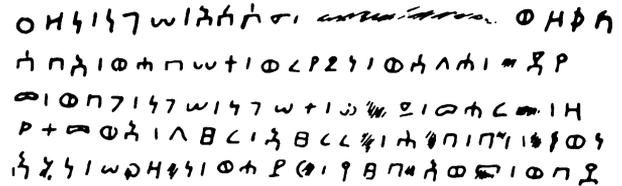
デモティック ヒエラティックの更にくずれたもの、エジプト民衆文字とよばれる。(Gilyarevsky)



メロエ文字 ナイル上流のヌビアに紀元前8世紀頃栄えたメロエ国の文字。2種ある内略体の方。(Diringer)



ポエニ文字 古代ローマと争った北アフリカのカルタゴの文字。フェニキア文字に近い。(Diringer)



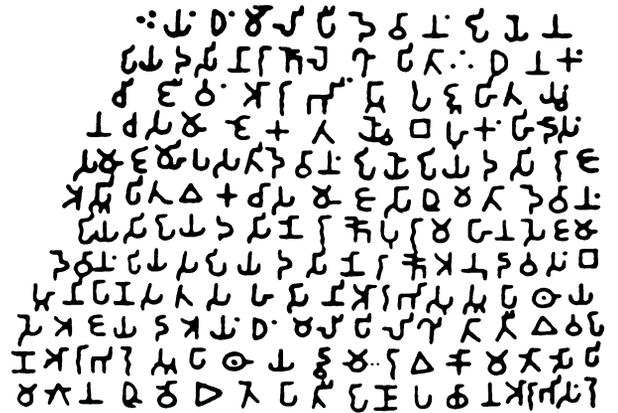
ゲーズ文字 南アラビアから渡った古代エチオピア帝国の文字。アムハラ文字の基礎となった。(Jensen)

インドの文字

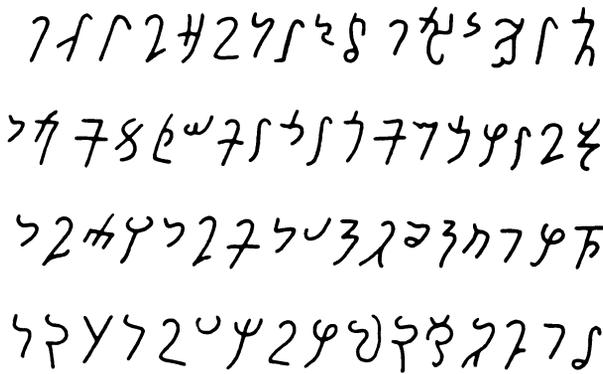
中西克 『世界の文字』 より



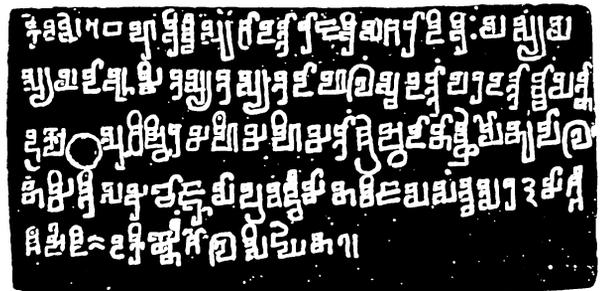
インダス文字 紀元前25世紀頃インド西部に栄えたインダス文明の文字。全く未解読である。(著者図)



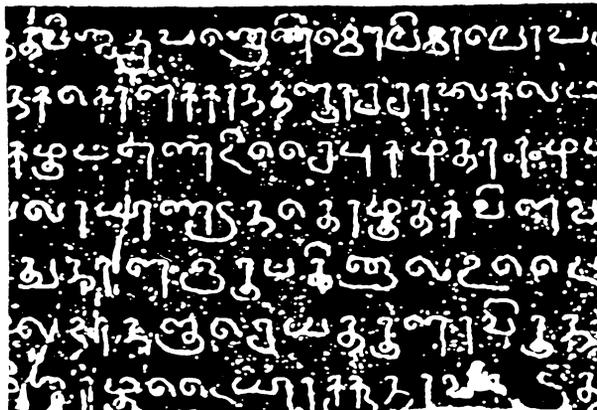
ブラフミ文字(アソカ文字) 古代インドのマウリア朝の文字。幾多のインド文字の基礎となった。(Jensen)



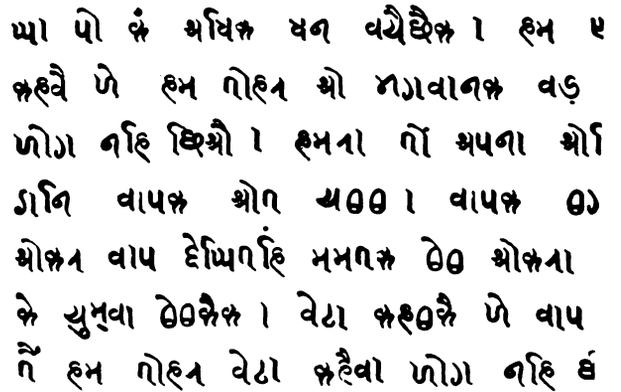
カロスチ文字 ブラフミ文字と共に古代インドの文字であるが、中央アジアの方へ広がっている。(著者図)



ボックスヘッド文字 中世インド文字の1つ。マディヤプラデシ、ハイダラバードあたりの6世紀 (Diringer)

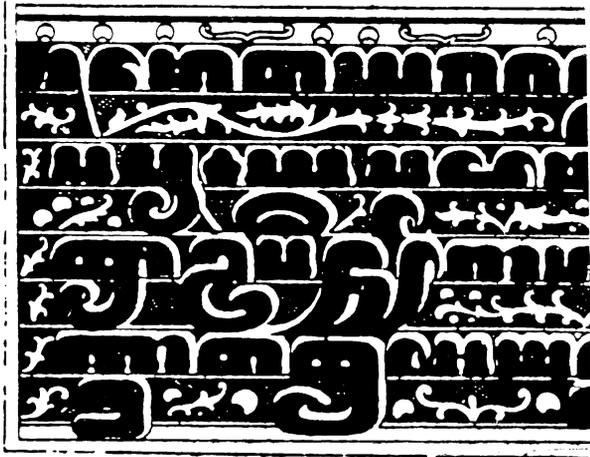


チョーラ文字 中世南インドのチョーラ朝の文字。ドラビタ文字の古形グランタ文字の1種(世界史大系6)



カイチ文字 インドのビハール語のための本来の文字。グジャラート文字に化している。(Grierson)

東南アジアの文字



パーリ文字 11世紀にビルマへ入ったパーリ語の文字。古ビルマ文字の1つ。(Diringer)

山 村 余 埃 戦 場 衝 坡  
 咄 欺 戦 死 群 羅 踰 靈  
 達 夕 交 廣 亡 城 罨 分  
 呂 興 楊 稷 余 吝 樹 台  
 仇 吳 馱 晋 仍 時 紛 争

チュノム文字(字喃) 安南(今のベトナム)の文字で陳朝以降。漢字に混用される。(大南国史演歌)

၁ သို ဖုဂ်ကတ ဝဗ် ဝဗ်ဗုဗ်  
 ကတ ဖုဗ်ဗ် ကတ ကုဗ် ကုဗ်  
 ဝဗ်ကတ ကတကတ ဖို ဖိုကတ ဗ် ဝ  
 ဗုဗ် ဖုဗ်ဗ် ဖုဗ်ဗ် ကတကတ ဝဗ်

• ယူ ဖိ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ  
 တံ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ  
 ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ ဇယ

チャム文字 チャムは現在の南ベトナムの南端に当る。マライポリネシア系の古い文化がある。(Fossey)

チェンマイ文字(西ラオ文字) タイ北部のラオ文字で、タイ文字と少し違い、クメール文字に近い型。(教科書)

သ ဗ်အိုအို ဇကူ။ သံယေဗ္ဗဇကူ  
 ဇ်အို။ ဇ်အို သံယေဗ္ဗဇ်အို။ ဇ်အို  
 ဂုဏ်။ သံယေဗ္ဗဇ်အို ဇ်အို။ သံ  
 ဗ်အို ဗ်အို ဇ်အို။ သံယေဗ္ဗဇ်အို  
 သံယေဗ္ဗဇ်အို။ သံယေဗ္ဗဇ်အို  
 ဂုဏ်။ ဂုဏ် ဇ်အို ဇ်အို

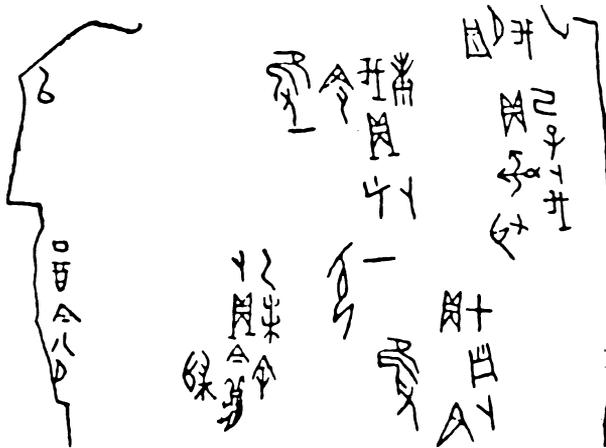
နိုဗ်အို ဇ်အို ဇ်အို ဇ်အို ဇ်အို ဇ်အို ဇ်အို  
 ဇ်အို ဇ်အို ဇ်အို ဇ်အို ဇ်အို ဇ်အို ဇ်အို

チャクマ文字 バングラデシュ東端のチッタゴン丘のチャクマ族の文字。(Diringer)

ノラー文字 インドのアッサム地方の少数民族ノラーの文字はシャン文字の変形である。(Grierson)

東アジアの文字

中西亮 『世界の文字』より。



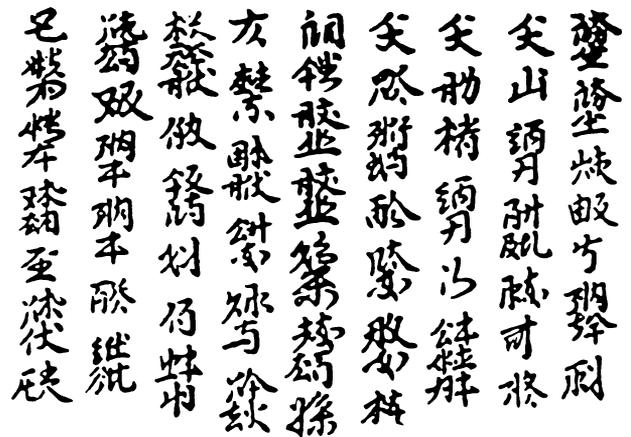
甲骨文字 漢字の最古の形で、古代殷帝国の文字。紀元前14世紀。(貝塚茂樹：古代殷帝国)



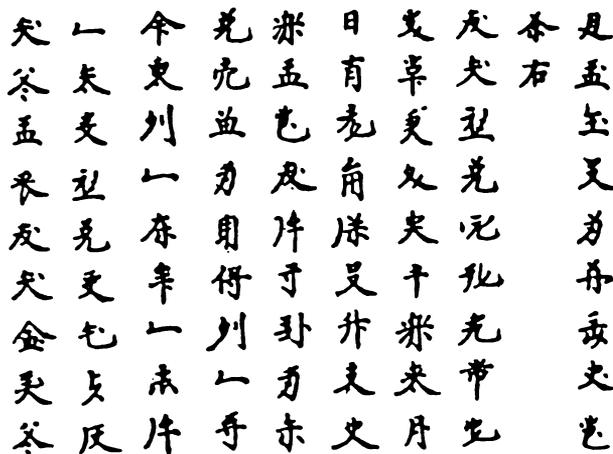
突厥文字(古代トルコ文字) 6世紀中国北辺の突厥の文字。(E.ド-ブルホ-ファー：失なわれた文字の解読)



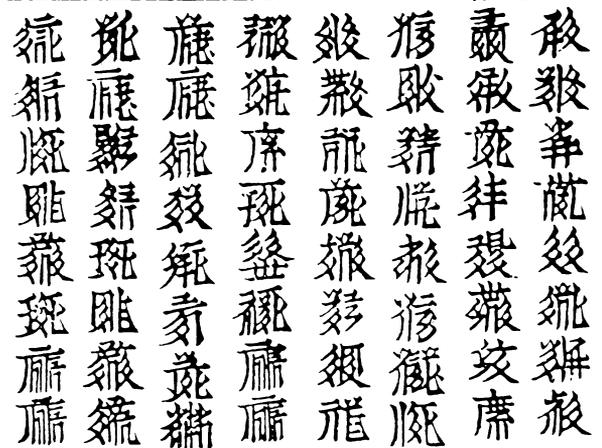
ホタン文字 古代中央アジアのホタンの文字。グプタ文字の系統。(法蔵館：中央アジア古代語文献)



遼丹文字 10世紀に中国北部に栄えた遼帝国の文字。まだ解読されていない。(田村実造・小林行雄：慶陵)



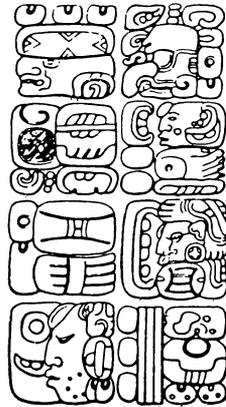
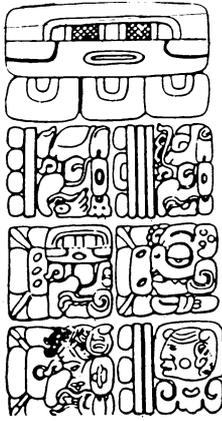
女真文字 12世紀に中国北辺に栄えた金帝国の文字。完全には解読されていない。(羅福成：女真訳語)



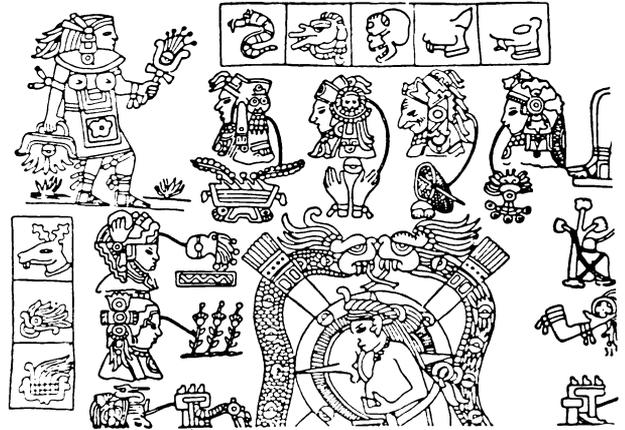
西夏文字 12世紀の中国西辺にあった西夏国の文字。西田龍雄博士により解読された。(西夏華嚴経)



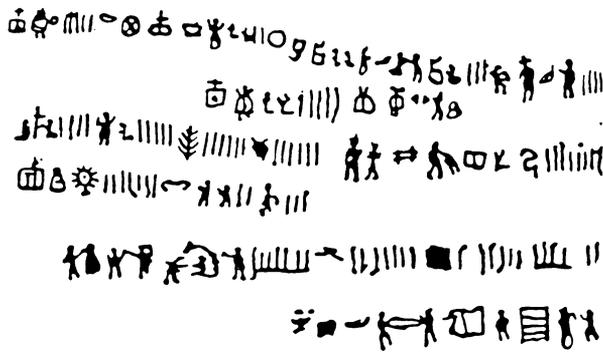
南北アメリカとオセアニアの文字 出展：中西亮『世界の文字』1975.



マヤ聖刻文字 古代メキシコとグアテマラに栄えたマヤ文明の文字。紀元前から。(石田英一郎：マヤ文明)



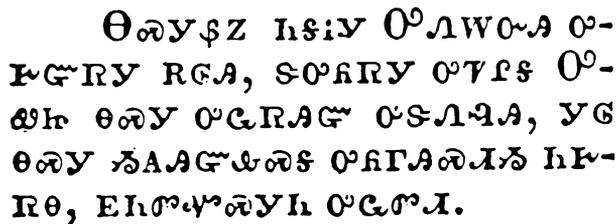
アズティック文字 15世紀以前のメキシコに栄えたアズティック帝国の絵文字。(Gelb)



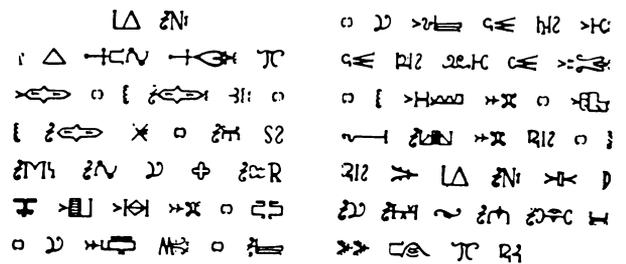
アイマラ文字 南米のチチカカ湖周辺のアイマラ族の古文字。15世紀以前かも知れない。(Diringer)



パウカルタンボ文字 南米ペルーのパウカルタンボ渓谷で発見された文字。(Diringer)

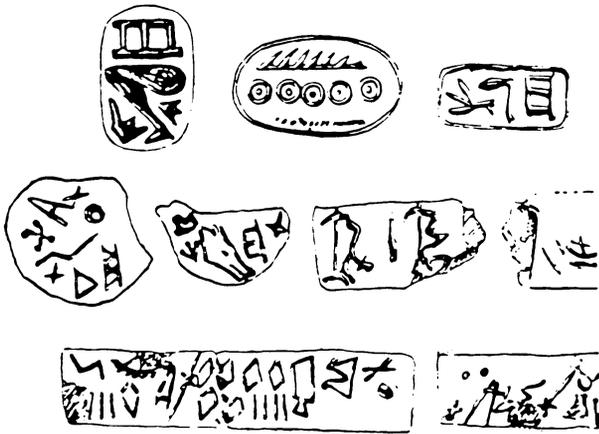


チェロキー文字 オクラホマのインディアンが19世紀につくった。(BFBS: The Gospel in Many Tongues)

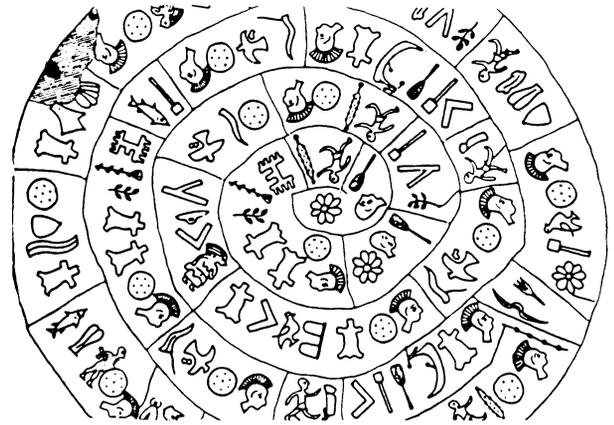


カウダー文字 北米セントローレンス河口のミクマックインディアンの文字で、19世紀に作られた。(Bible)

東地中海と周辺の文字



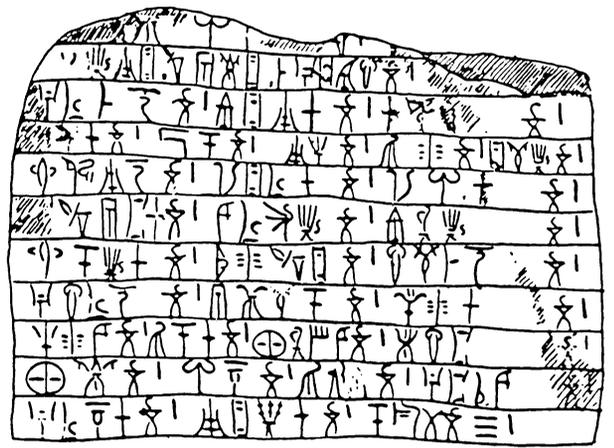
クレタ(ミノア)象形文字 古代エーゲ文明の中心クレタ島の絵文字で中期ミノア期。未解読。(Diringer)



フェストス円盤文字 クレタ島で発見されたただ1個の円盤のみ。前17世紀だが全く読めない。(Gelb)



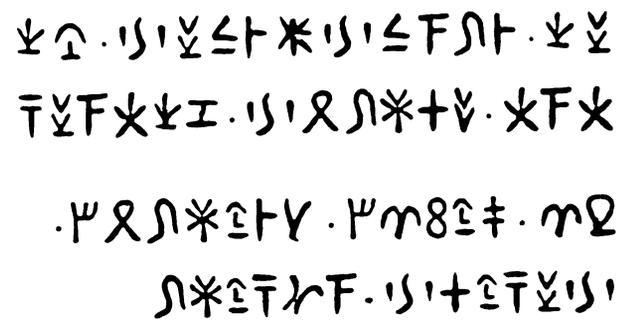
クレタ線文字A 古代クレタ島に2種ある線型文字の古い方で未解読。紀元前18~15世紀。(Diringer)



クレタ線文字B (ミケーネ文字) ヴェントリスによって解読された。(チャドウィック：線文字Bの解読)



ピプロス疑似聖刻文字 古代フェニキアのピプロスで前15~14世紀。バルムにより解読された。(Jensen)



キプロス音節文字 (古典キプロス文字) 紀元前6~3世紀のキプロス島で使用。解読されている。(Fossey)

出展：『図説 アジア文字入門』河出書房新社、2005.

## ✿ インド系文字で書いてみよう ✿

さまざまなインド系文字で、私たちの国「日本」をあわらすことばを書いてみましょう。

一文字ずつ読んでみよう

つなげて書いてみよう

- ブラーフミー文字  
(ヒンディー語)

ए पा न  
ジャー パー ン

- デーヴァナーガリー文字  
(ヒンディー語)

जा पा न  
ジャー パー ン

जापान

- ベンガル文字  
(ベンガル語)

জা পা ন  
ジャー パー ン

জাপান

- チベット文字  
(チベット語)

ཇི་པཎ་  
リ ビン

ཇི་པཎ་

- シンハラ文字  
(シンハラ語)

ජ පා න ය  
ジャ パー ナ ヤ

ජපානය

- タミル文字  
(タミル語)

ஜ ப் ப ா ன்  
ジャ パー ン

ஜப்பான்

- ビルマ文字  
(ビルマ語)

ဂျ ပန်  
ジャ パン

ဂျပန်

- クメール文字  
(クメール語)

ជ ប៉ ង  
ジャ パン

ជប៉ុន

- タイ文字  
(タイ語)

จ ี ๊ ้น  
ジー プン

จี๊ पू ้น

●主要なインド系文字の一覧●

	ブラーフミー	ナーガリー	グルムキー	ベンガル	オリヤー	チベット	シンハラ	テルグ	カンナダ	タミル	マラーヤラム	グランタ	バリ	クメール	タイ	ラオ	ビルマ
a	अ	अ	অ	ଅ	အ	ཨ	අ	అ	ಆ	அ	അ	അ	အ	អ	อ	ອ	အ
ā	आ	आ	আ	ଆ	အ	ཨ	ආ	ఆ	ಆ	ஆ	ആ	ആ	အ	អា	อา	ອາ	အာ
i	इ	इ	ই	ଈ	အ	ཨ	ඈ	ఱ	ಱ	இ	ഇ	ഇ	အ	អ	อิ	ອ	အ
ī	ई	ई	ঈ	ଈ	အ	ཨ	ඉ	ఱ	ಱ	ஐ	ഐ	ഐ	အ	អ	อี	ອ	အ
u	उ	उ	উ	ଊ	အ	ཨ	ඊ	ఱ	ಱ	ஊ	ഊ	ഊ	အ	អ	อุ	ອ	အ
ū	ऊ	ऊ	ঊ	ଊ	အ	ཨ	උ	ఱ	ಱ	஋	ഋ	ഋ	အ	អ	อู	ອ	အ
e	ए	ए	এ	ଋ	အ	ཨ	ඌ	ఱ	ಱ	ஏ	ഈ	ഈ	အ	អ	เอ	ອ	အ
ai	ऐ	ऐ	ঐ	ଌ	အ	ཨ	ඍ	ఱ	ಱ	ஐ	ഐ	ഐ	အ	អ	เออ	ອ	အ
o	ओ	ओ	ঔ	ଌ	အ	ཨ	ඎ	ఱ	ಱ	ஓ	ഓ	ഓ	အ	អ	ออ	ອ	အ
au	औ	औ	ঔ	ଌ	အ	ཨ	ඏ	ఱ	ಱ	ஔ	ഔ	ഔ	အ	អ	औ	ອ	အ
ka	क	କ	ক	କ	က	ཀ	ක	క	ಕ	க	ക	ക	က	ក	ก	ກ	က
kā	का	କା	কা	କା	ကာ	ཀ	කා	కా	ಕಾ	கா	കാ	കാ	ကာ	កា	กา	ກາ	ကာ
ki	कि	କି	কি	କି	ကိ	ཀ	කි	కి	ಕಿ	கி	കി	കി	കി	កិ	กิ	ກิ	കി
kī	की	କି	কি	କି	കി	ཀ	කී	కి	കി	கீ	കീ	കീ	കി	កិ	กิ	ກิ	കി
ku	कु	କୁ	কু	କୁ	കു	ཀ	කු	కు	കു	கு	കു	കു	കു	កុ	กู	ກู	കു
kū	कू	കൂ	কু	കൂ	കു	ཀ	කූ	కూ	കൂ	கூ	കൂ	കൂ	കൂ	കൂ	กู	ກู	കൂ
ke	के	କେ	কে	କେ	കേ	ཀ	കെ	కె	കെ	கெ	കെ	കെ	കെ	കെ	เก	ເ	കെ
kai	कै	କୈ	কৈ	କୈ	കൈ	ཀ	കൈ	కై	കൈ	கை	കൈ	കൈ	കൈ	കൈ	เกอ	ເ	കൈ
ko	को	କୋ	কো	କୋ	കോ	ཀ	കോ	కొ	കോ	கொ	കൊ	കൊ	കൊ	കൊ	เกอ	ເ	കോ
kau	कौ	കൌ	কৌ	കൌ	കൌ	ཀ	കൌ	కౌ	കൌ	கௌ	കൌ	കൌ	കൌ	കൌ	เกอ	ເ	കൌ
ka	क	କ	ক	କ	က	ཀ	ක	క	ക	க	ക	ക	ക	ക	ก	ກ	ക
kha	ख	କ୍ଷ	খ	କ୍ଷ	ക്ഷ	ཀ	ක	ఖ	ക്ഷ	க	ക	ക	ക	ക	ก	ກ	ക
ga	ग	ଗ	গ	ଗ	ဂ	ཀ	က	గ	ഗ	க	ക	ക	ക	ക	ก	ກ	ക
gha	घ	ଘ	ঘ	ଘ	ဂ	ཀ	က	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
na	न	ନ	ন	ନ	ဂ	ཀ	က	న	ന	ந	ന	ന	ന	ന	ก	ກ	ക
ca	च	ଚ	চ	ଚ	ച	ཀ	ക	చ	ച	ச	ച	ച	ച	ച	ก	ກ	ക
cha	छ	ଛ	চ	ছ	ച	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
ja	ज	ଜ	জ	ଜ	ച	ཀ	ക	జ	ച	ജ	ച	ച	ച	ച	ก	ກ	ക
jha	झ	झ	জ	झ	ച	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
ña	ञ	ञ	ঞ	ঞ	ച	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
ta	ट	ଟ	ট	ଟ	ത	ཀ	ക	ట	ത	ட	ത	ത	ത	ത	ก	ກ	ക
tha	ठ	ଠ	ঠ	ଠ	ത	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
da	ड	ଡ	ড	ଡ	ത	ཀ	ക	డ	ത	ட	ത	ത	ത	ത	ก	ກ	ക
dha	ढ	ढ	ঢ	ঢ	ത	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
na	ण	ണ	ণ	ണ	ന	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
ta	त	त	ত	ত	ത	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
tha	थ	थ	থ	থ	ത	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
da	द	द	দ	দ	ത	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക
dha	ध	ध	ধ	ধ	ത	ཀ	ക	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ఱ	ก	ກ	ക





中国、漢代の紙の製法



浸湿

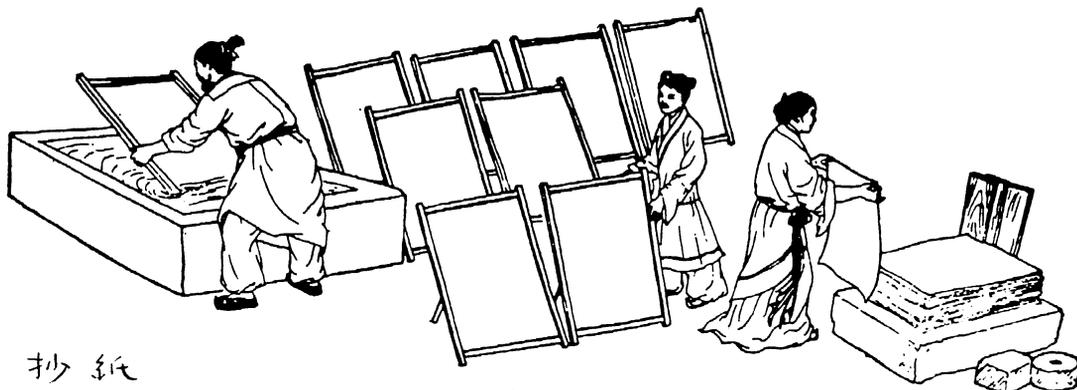
切碎

浸灰水



打漿

卷搗



抄紙

晒紙

揭紙

### 漢代古紙技術の復元

前漢の“灋橋紙”(1957年西安郊外灋橋出土)・“羅布淖爾紙”(1933年ロプノール湖畔出土)、後漢の“民豐紙”(1959年西域南道の民豐出土)・“額濟納紙”(1942年内蒙古オージナ出土)・“早灘坡紙”(1974年甘肅省早灘坡出土)等漢代麻紙の研究より、古代製紙技術が復元された。模擬実験の工程は、

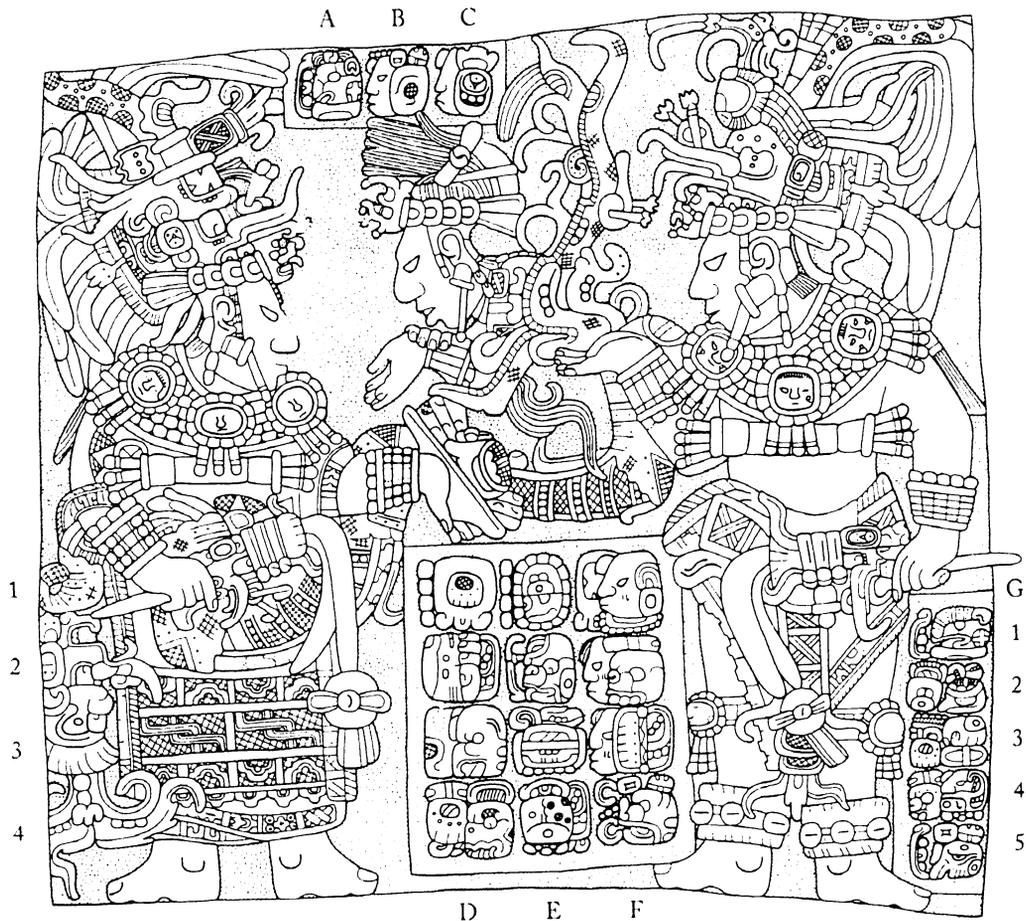
- ① 浸 湿：大麻と苧麻の古繩や古布を水中で潤張乱散させる。
- ② 切 碎：斧で切断し小塊とする。
- ③ 洗 滌：夾雑物を除き、かごに入れ流水中で洗滌する。
- ④ 浸灰水：草木灰水（古代常用のアルカリ液）に浸し化学処理する。
- ⑤ 舂 搗：石臼中で搗いて麻纖維を細かく分散させる。
- ⑥ 洗 滌：不純物を洗い流す。
- ⑦ 打 漿：灰白ないし銀白色の綿絮状材料に清水をそそぎかくはんし、紙漿（パルプ液）が得られる。纖維が分散漂浮する懸浮液である。
- ⑧ 抄 紙：織紋紙簀で紙漿の液を汙過して湿紙を形成する、紙を抄く。
- ⑨ 晒 紙：湿紙を日にさらして乾かす。
- ⑩ 掲 紙：紙をとり下げる。

天工開物中巻十三殺青（製紙）は楮樹・桑・芙蓉などの樹皮纖維から作る皮紙と竹纖維から作る竹紙の製法を述べている。古代製紙法は貴重なノウハウとして文献には極めて稀である。今も中国の画仙紙をはじめ多種多様な紙は我が国へも多く輸入され、書画用箋として重用される。その製法は門外不出とされる。

[ × モ ]

	A	B	C	D	E
1	1	2	9	10	17
2	3	4	11	12	18
3	5	6	13	14	
4	7	8	15	16	

← マヤ文字の読み方

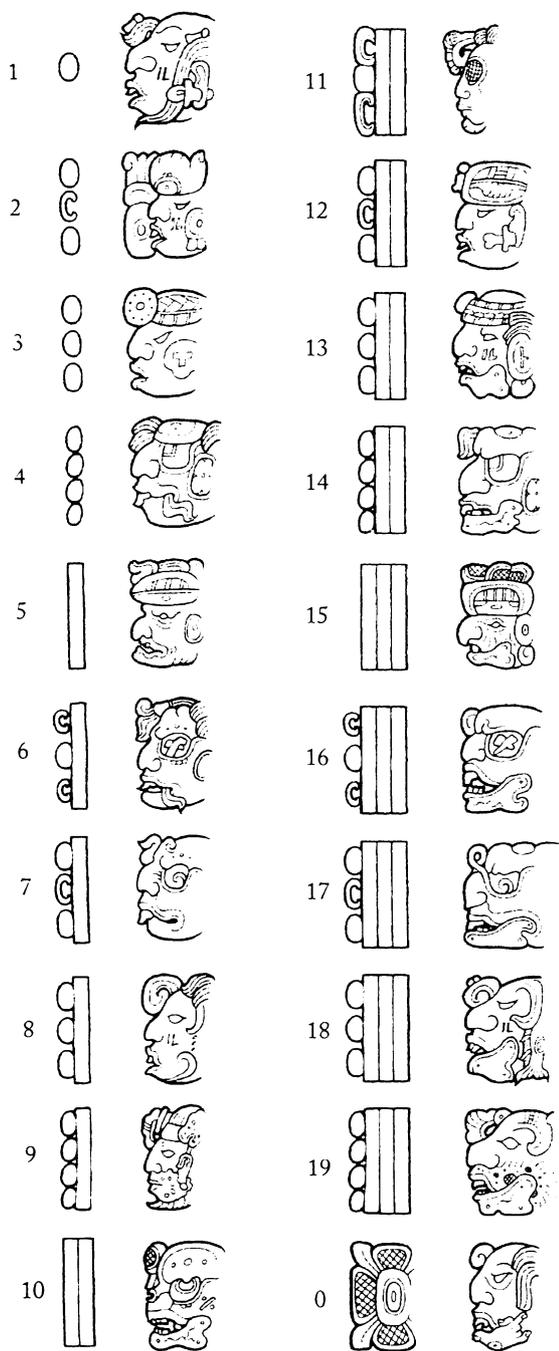


2 ヤシュチラン まぐさ石14 (drawing courtesy Ian Graham)

この石灰岩製のまぐさは、今も古典期と同じく神殿20のとある部屋の上部にある。ここに描かれているのは、カレンダー・ラウンドの4イミシュ4モルの日(9.15.10.0.0、西暦741年6月26日)に、〈偉大な髑髏〉という名のヤシュチラン王国のサハル *sajal* (戦争指揮官) とその姉妹でヤシューン・バフラム4世の妻となった〈貴婦人・偉大な髑髏〉がおこなった放血儀礼の様子である。儀式で「幻視のヘビ」(D4-E4にワイ *way* として記されている) を呼び出しているのは、男ではなく女の方である。彼女の名前と称号はBとCとF1-F4にある。 *u-bab-anul?* [ウーバフーアヌル?] 《有名な?》の句に続いて、G2-G5に〈偉大な髑髏〉のフルネームと称号が書かれている。

注：テキストが縦3行の場合、左の2行を読んでから右端へ行く (D1, E1, D2, E2 … E4, F1, F2 … の順)。

マヤ文字の数字



音节表

	純母音	b	ch
a			
e			
i			
o			
u			



SIH-ya-AJ K'AK'-TILI-w(i) CHAN-n(a)-CHAAK

si(b)y-aj k'ak'-tiliw chan chaak [シヤフ・カク・ティリウ・チャン・チャーク]

《カク・ティリウ・チャン・チャークは生まれた》